

一社) 熊本県空手道連盟会議記録 (様式)

会議名: 常任理事・理事・社員総会	日時: 令和5年6月25日(日)
会議場: ホテル熊本テルサ	会議場住所: 〒862-0956 熊本市中央区水前寺公園 28-51
議長: 西山徳幸理事長	記録者: 前田春香・荒木貞光
出席者: 三原相談役・森野会長・西山理事長・宮崎事務局長・西田・緒方・中川・濱洲・森永・阪梨・釜・横田・阿部・矢野・米倉・櫓木・松村・大石・山内・坂田・増永・前田・荒木 (23名)	

1 挨拶

(会長) 一般社団法人となつてはじめての総会。コロナも落ち着いたが、熊本では増加しているため、終息はしていない。指導の中でも感染予防対策を習慣づけるようにしてほしい。

今回の資料の決算書はよくできている。赤字ばかりで熊本国体の貯蓄を切り崩していた。しかし、現在黒字となっているのでとても感謝している。今後の活性化のために努力してほしい。

(理事長) 法人化して一年。その間各部会では大変ご尽力頂いた。費用的なことでも無理を言ったりもあった。また、女性の意見を取り入れ、協力いただいたことに感謝している。その意見をしっかりと反映させていきたい。

2 連絡等

(事務局長) 規約では理事会の議長は会長で、総会は理事長である。今回総会参加者が1名なので、とりまとめて行うことを御了承いただきたい。よつて議長は理事長でお願いします。また今回の議事録を前田・荒木にお願いしています。

3 議事

(事務局長) 対象者37名で今回23名参加によりこの会が成立することを御報告いたします。

①令和4年度事業報告 (事務局長)

①組織に関する事項

(1) 会員に関すること

組織に関する事項の中で説明を有する中学校について。

道場に所属しながら、中学校で出場する選手は道場へ登録・中学校の部活で出場する生徒は中学の登録。

(2) 全空連段位申請

年2回の実績。

(3) 全空連審判登録

2回の審判審査の折りに登録するよう願っている。

(4) 組織の充実強化

年4回の理事会を計画。コロナ等により対面ができずに書面での理事会を実施した。

②実施した事業

(1) 県内大会

(2) 県外大会

(3) 資格審査会 (県内)

年2回実施した級・段の取得者数

(4) 資格審査会 (地区協・全空連)

(5) 講習会

- (6) 諸会議への出席
- (7) 資格審査員研修会・公認スポーツ指導者講習会
- (8) 強化練習会
- (9) 指導者の育成と競技力向上のための事業

コーチ1を7年ぶりに実施。全国大会などの監督や審判ができる対象が増えると良いと思う。また、全空連から6段以上の取得者が多いので、熊本県は頑張っていると褒めのことばをいただいた。

※各部会より

ア 審判部会（濱洲）

旧Cの資格は県補を持っていて段位が3段となった人は自動的にBになる。その時点で全空連登録を申し込んでほしい。その都度本人からの申請をしてほしい。

イ 女性部会（横田）

ビギナー向け講習会では中学生にお手伝いいただきとても良い講習会となった。

(5) 講習会内女性活躍啓発部講習会の3/18→2/18へ訂正。この講習会では女性対象とあるが、どなたでも参加して良かった。内容も良い評価をいただいた。次はテーピングの巻き方などを教えて欲しいとあった。

また、Webセミナーで倫理実務担当者会議に参加した。とてもデリケートであったが大切なところだと感じた。

女性部会の活躍は他県からも評価され注目を受けている。

ウ 強化育成部会（坂田）

上位大会出場者は、強化練習を行うことができた。対象を広げてほしいという意見もあるが、当面は大会出場者に限り実施していく。また、まだまだコロナ対策も必要であると思うので、人数については今後も検討して開催していきたい。

エ 段位部会（阪梨）

指導者の先生方が統一した理解がないといけない。審判をするにしても大事だと思う。今後も指導者講習会を実施していきたい。また、コロナ禍で書類審査だったため、実技をチェックしていないので技術力が懸念される。実技をせず合格した人は是非技術講習会を受けてほしい。

2 令和4年度収支報告（矢野）

今年度初めて試みて作成。各部会の先生が見ていただき、他の部会についても目を通してほしい。

(理事長) どの事業で収益があったのか、減なのかが一目瞭然。事業の内容を考え、反映して行ってほしい。

(事務局長) 各部会で大会計画の要項、予算案を作成して、事務局からお金を振込み、その予算で運営して決算書を作成する。要項は2ヶ月前にHPで周知、1ヶ月前に申込締切、予算を1ヶ月前から2週間前までに作成、終了2週間から1ヶ月までにして報告する流れになっている。

※P8,9について（事務局長）

団体別登録状況で熊本県内の会員登録をしている道場の詳細である。

中学生大会や小学生大会の前日まで、道場登録や会員登録をしなくてはならないという状況。大会当日資格がないから出場できないという事態を避けたいが、出場できなくなりそうな選手がいる。原因は様々だが、各道場の手続者がメールを見る習慣がない。できていると思っていたなどが多い。申

し込んだあとの不備もあり、確認作業に大会前日の夜までかかっているのが現状である。不備の確認等の連絡が来ていないかを各道場へ共有し周知して欲しい。P 3～9で報告→承認

③令和4年度会計決算報告（矢野）

事業・運営費にわけて収入と支出を整理している。

運営費収入の1,266,000円は、今まで、当年の会員登録の場合は、令和5年度の会員登録は令和4年度3月から始まるので、前受金として表している。

九プロ・全九州の800万は熊本大会であったため、各九州地区の預かり金である。500万は運営、300万は旅費等になっている。P 11～16で報告→承認

（理事長）日本オリンピック委員会の不祥事以降、各競技団体レベルまで金の流れについての注意が
あっている。国体のある県では分裂して大変な状況である。税理士にも指導を受けて実施し
ている。今後3月末で決算を終える場合は5月まで（2ヶ月で）決算報告をすることも必要
になる。当たり前のことをしているのではあるが協力して欲しい

④令和4年度会計監査報告（森永・米倉）

P17で報告→承認

（休憩）

⑤令和5年度事業計画（案）（事務局長）

7月21～23日の火の国旗について。参加校数の減少から、見直しが必要であった。高体連と県連で話し合った結果、今年度は期日と場所を変更し、男女開催日を分けて練習試合を3日とも設定した。また九州各県の審判の協力を1名は各県から負担して派遣して欲しい依頼をした。また、1月に全空連主催で中学校授業推進研究会が実施される。

（荒木）火の国大会の参加は現在31校、男子28・女子25校である。次の週に全国高校総体が実施されるので、参加を見送る学校があると考えられる。今後も日程は厳しくなるが、練習試合をメインになる大会として、数年間これで実施していき、今後の状況を見ていきたい。県連・高体連から各高校へ連絡済。各郡市連から補助員や広告の協力を頂いている。

（緒方）12月第2週で水俣大会を行っているが、県中学新人と今後重なってくるのではないかな。重ならないように配慮をお願いしたい。

（西田）今年度も11月26日に八代彦一杯を開催しますので御協力よろしく申し上げます。

（濱洲）国体では新ルールで実施されるので、各種大会では新ルールとするならばその前に講習会が必要となる。

（理事長）7月の幹事会で決定すると思うのでその後に検討します。P 18～19で提案→承認

⑥令和5年度予算（案）（矢野）

運営費助成金の項目を新設。過払い返金の勘定科目がこれまであったが、各勘定科目で事前に差し引き報告をする。P 20で提案→承認

⑦各部会からの報告・提案

ア 段位部会（坂梨）

受審資格は県連・全空連会員であること。受審申請と同時の登録は認めない。全空連の公認級位・段位を持つ人は熊空連への移行申請料を廃止。所属団体の級位所持者が全空連の公認段を受けるときは全空連の公認級位を受審しなければならない。少年段位から一般段位への移行申請は、移行手数料を1000円徴収。1級から実技審査がある。全空連の公認級は5級から。2級までは道場

から書類審査が申請できているが、今後はどうするのかを検討。少年少女大会の申込には全空連級位を記載しなければならないので、段位審査も早くする必要がある。今後は書類審査をなくしていきたい。全空連では5級から申請がある。

(山内) 道場でどこまでを申請できるかを決めて欲しい。

(濱洲) 技術に見合わない早めの申請がある。学年で級位を決めて欲しい。

(櫛木) しっかりと文書で決定事項等を出してもらいたい。

(理事長) 大会出場に公認級位が必要なので、全空連は5級からではあるが、大会に出場するために道場から申請できる級位は9～6級までとして、その後は1級審査を県連で受審してもらい、1級不合格者にはそれに見合った級位を発行する。道場申請の級位を持っていなくても1級をいきなり受けることも可能である。

(山内) 今後は段位・資格・審査とかを所持する指導者が当たり前のようになる根本的なところを県連として組織作りをしてもらう必要があると思う。

イ 少年・少女・中学企画部会 (山内)

大会運営で、参加申請書を改定中。人数が多い大会等は、締切後の準備が多いため準備期間を1週間増やしたい。

(事務局長) 参加者数や大会によって違うと思うので、各部会の担当で要項作成の時点で変更していただいて構わないことを承認していただきたい。→承認

⑦その他 (事務局長)

①新規加盟道場承認について

名称の変更：海王塾坂田道場→海王塾熊本道場

代表の変更：空心会嘉島道場代表者 河原龍哉→久保田崇裕

新 設：西岡道人 菊池郡市連 用木館→承認

(理事長) プレミアリーグ福岡お世話になりました。釜つばさ準優勝・チケット売上も熊本県は良かった。ありがとうございました。

12/17に第2回指導者技術向上講習会を形の指導で指導者がもっと勉強してほしい。

1月に中学校授業推進研究会を全空連主催である。今まで東京・大阪のみの実施であったが、今回熊本で開催されることはありがたい。これも相談役の大門先生・三原先生の御尽力の賜である。この事業は文科省と全空連で開催される。外部指導者も講習を受けると公認初段をもらえるなどの処置もあるので、御協力を願いたい。

九州地区協の役員の改正が今年度行われた。熊本県はずれているため、会長、理事長、事務局長を令和6年度まで延長できないか。各部会は今年度で2年を迎えるので交代もしくは延長をしてもらって1年後に再度、役員改正を行いたい。これで地区協と足並みがそろおう。

⑧閉会 (三原相談役)

爽りある意見で滞りなく終えることができた。久しぶりに参加したが、とても質の高い会議を見せてもらった。県連も生まれ変わったと思うので更なる発展をしてほしい。

議事記録確認 ・議事が適切に記録されていることを確認しました。

議長 西山 徳幸 印  記録者 荒木 貞光  ・ 前田 春香 